

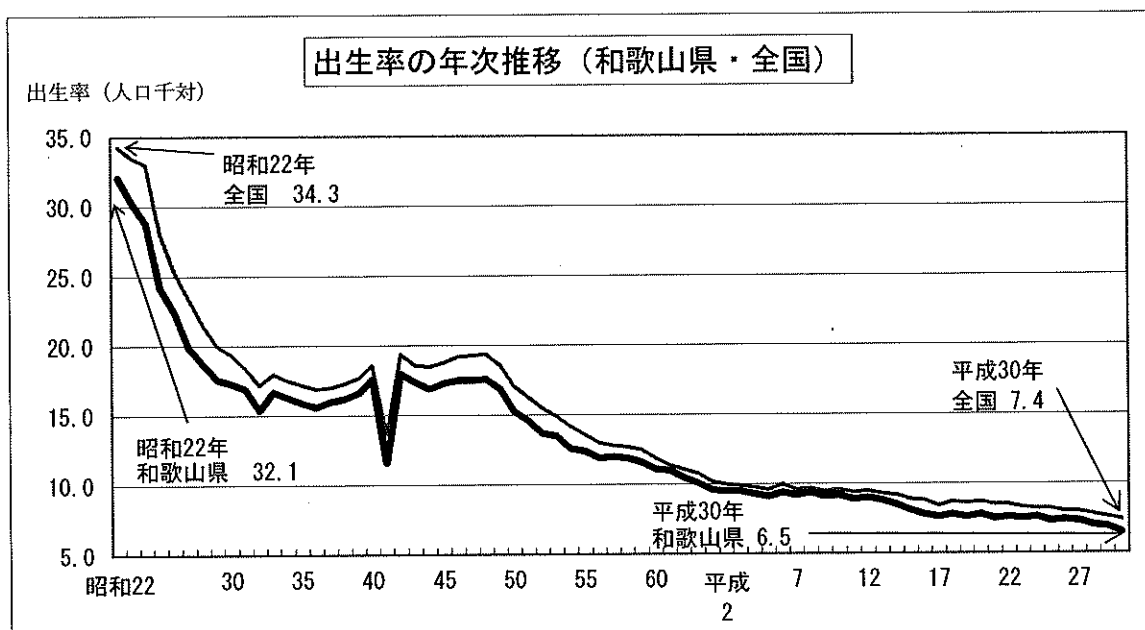
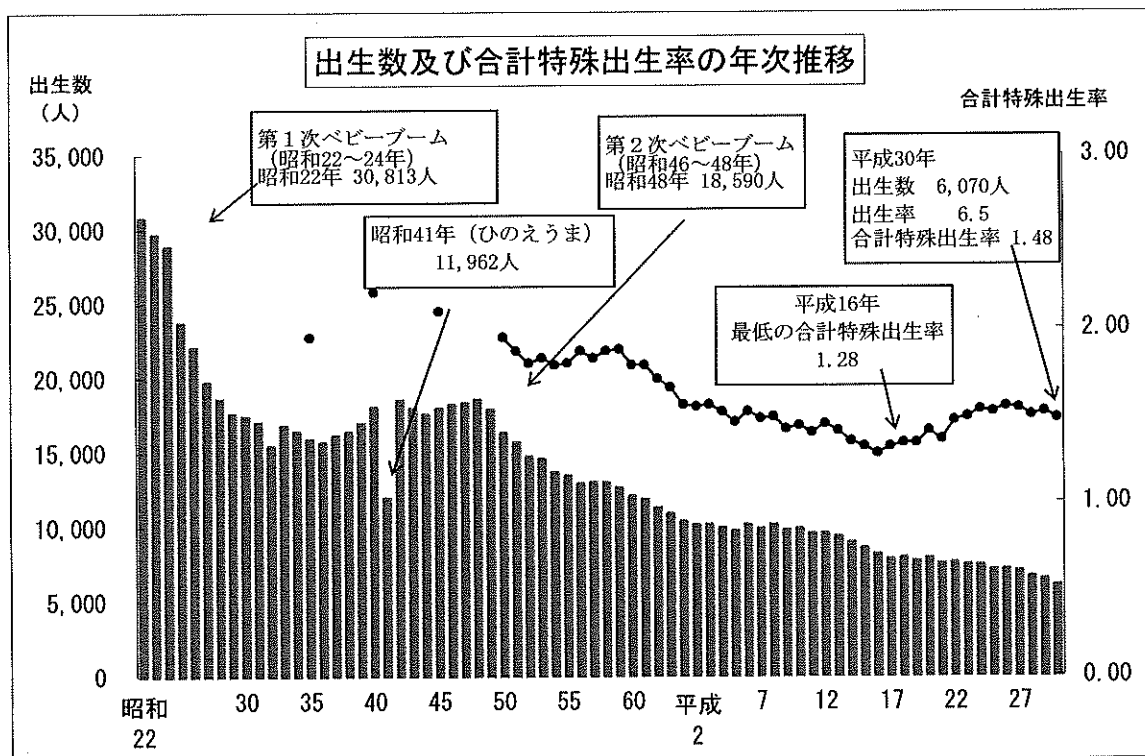
Ⅲ. 結果の概要

1 出生

平成30年の出生数は6,070人で、前年の6,465人より395人減少した。

出生率（人口千対）は6.5で、前年の6.9を下回った。また、合計特殊出生率は1.48で、前年の1.52を下回った。

昭和50年以降、出生数は減少を続け、平成に入ってから、減少傾向が続いている。



出生順位別の母の平均年齢は、第一子の母の出産年齢が 29.5 歳で、前年を 0.2 歳下回った。第三子の母の出産年齢は 33.1 歳で、前年を 0.1 歳下回った。第二子の母の出産年齢は 31.9 歳で前年と同数だった。

和歌山県は全国に比べ、いずれの出生順位においても母の平均年齢は低い状況にある。

出生順位別母の平均年齢（歳）（和歌山県）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
第一子	28.6	28.8	28.8	29.1	29.4	29.3	29.6	29.7	29.7	29.8	29.7	29.5
第二子	30.9	31.1	31.1	31.2	31.0	31.6	31.4	31.7	31.7	31.8	31.9	31.9
第三子	32.6	32.6	33.1	32.8	32.9	33.0	32.9	32.8	33.1	33.3	33.2	33.1

出生順位別母の平均年齢（歳）（全国）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
第一子	29.4	29.5	29.7	29.9	30.1	30.3	30.4	30.6	30.7	30.7	30.7	30.7
第二子	31.4	31.6	31.7	31.8	32.0	32.1	32.3	32.4	32.5	32.6	32.6	32.7
第三子	32.9	33.0	33.1	33.2	33.2	33.3	33.4	33.4	33.5	33.6	33.7	33.7